

## 業界トピックス

### 【製造業】

- ・現状維持【試作品製造】
- ・特定の分野のみに仕事集中しているように感じる。特に民生用向の電気やパチンコ等のアミューズメントの会社が不調。海外展開を行っている製造業が元気なよう。【試作品製造】
- ・3月の震災以後、特に原発の問題が発生してからは、大手企業ほど海外へ目が向いてしまい国内では仕事がない。【各種機械製造】
- ・受発注の状況の把握【試作品製造】
- ・3月11日以降現状まで悪い【食品製造】
- ・震災の影響で、全体的にお客様の決裁が遅れており、受注時期が予定より1~2ヶ月遅れている。【無線通信機器製造】
- ・震災の影響により取引先の発注が遅れ気味。【モーター製造】
- ・精度が高く、高度な技術を要する仕事が少なくなった。基準が中国に合わせているように感じる。【試作品製造】
- ・材料費が値上げしている。【半導体装置製造】
- ・一時的に震災対応の特需があるが、その先が全く見えない。【ケーブルハーネス加工】
- ・取引先の信用不安(与信管理の難しさ)を感じる。【コンクリート製品製造】
- ・秋以降の自動車業界の生産回復に伴う人員体制が懸念される。【自動車部品製造】
- ・受注の減少、収益率の低下【自動車部品製造】

### 【建設業】

- ・材料等コスト上昇【建設・土木工事】
- ・民間工事(特に地場製造業の設備投資等)の冷え込み。民間工事物件(競争入札等)の価格の低下。(受注しても利益がない)【総合建設】
- ・新規雇用をしようにも会社としてのメリット、助成関係等が特にないため考えてしまう。企業の新規雇用に対する負担がもっと減少すればよい。
- ・不況こそチャンスと思っている。ただ消費マインドの低下が心配。【建築工事】
- ・受注の状況は好転しているが、支払い状況が良好とは言えない。資材も一部価格が上昇し始めている。従業員が不足。【基礎工事】
- ・売上増加するも仕入単価が上昇し利益が出ない。【土木工事】
- ・受注単価の低下。【消防設備】
- ・リフォーム工事(10~50万以下)でも競合が多く、受注および利益確保が厳しい状況。【木造住宅建築、リフォーム】
- ・景気が良くなると思っていたら、震災後は公共工事の発注遅れや受注額の低下を感じる。材料の単価上昇、軽油の値上げ、計画停電等悪い条件ばかりが揃ってしまった。【土木工事】

### 【小売・卸売業】

- ・大型スーパー同士の競争が一段と激しくなり、その狭間で市内小売店舗が泣いている。【食品卸売】
- ・日本全般肉食傾向になってきており、若い人が魚を食べなくなってきている。【鮮魚小売】
- ・震災後市場ニーズが変化【中古自動車小売】
- ・顧客を維持するための対策で販売促進費がかなり増加し、収益が悪化してきている。【食品小売】
- ・エコポイント終了と、3月の震災により家電の売上が低迷。【家電小売】
- ・不景気、建設業界の長引く不況、買い控で売上がなく大変。切り詰めてもどうしようもないくらい危機状態。【建築資材小売】

### 【飲食・サービス業】

- ・個人消費の低迷、仕入価格の上昇。【そば】
- ・客数の減少。【クリーニング】
- ・消費者の購買力の低下。【不動産】
- ・3月の震災後景気悪化、不況感が強い。特に建物の着工件数が激減している感がある。【測量】
- ・サービスを提供している企業への信頼度をお客様が厳しく見ている。【情報サービス】
- ・1台当たりの単価が減少、経営が厳しくなっている。【自動車整備】
- ・取引先の増産でとりあえず受注は好調。しかし来年度は全く見えない。【業務請負】
- ・価値のはっきりとしたものは、お客様は見逃さない。【居酒屋】
- ・従業員不足で雇用促進をしているものの、中途の人材があまりよくない気がしている。【機械設備メンテナンス】
- ・国内全体の不況感、先行きの見えない現在の社会情勢への不安感。【自動車関連サービス】
- ・震災対応を政府がスピード感をもってやらないと、悪影響は長引くばかり。【建設機械レンタル】
- ・震災後の顧客状況の変化(例年の予定案件が、震災復興に予算が集中したためか変更になった。)(精密機械設計)
- ・節電への取り組みの影響あり。【飲食】